

令和8年度福津市地域包括支援センター地域別取り組みシート

資料5-2

地域 福間

基本情報（令和8年3月31日時点）			地域特性
人口	18,184 人		・マンションが多い ・交通の便は良い ・浸水地域がある ・サロン等の活動は活発に行われている ・介護サービス事業所、医療機関、買物ができるところは多い
高齢者数	4,318 人	23.7 %	
65歳～74歳	1,879 人	10.3 %	
75歳以上	2,439 人	13.4 %	

地域で発生している問題

【福間全体】
 ・包括センターのチラシを掲示していないマンションについて、包括センターの周知ができておらず相談件数が少ない。

暮らしへの影響

- ・住民が相談先を知らず、困りごとを抱え込むリスクがある。
- ・必要なサービスを適切なタイミングで導入できない可能性がある。

問題が起きている要因

- ・自治会やサロン活動に参加していない方は、包括センターについての情報が伝わりにくい。

考えられる解決策（取り組み）

- ・管理人や管理会社を通して、包括シールやチラシの掲示を依頼する。
- ・民生委員から高齢者が多く入居してるマンションやアパートの情報をもらい、優先的に周知に向けたアプローチをしていく。

結果、成果

令和8年度福津市地域包括支援センター地域別取り組みシート

地域 福間南

基本情報（令和8年3月31日時点）			地域特性
人口	16,317 人		・新しいアパートやマンションが多い ・交通の便が良い ・浸水地域がある ・サロン活動が多い ・原町は地域のつながりが強い ・介護サービス事業所、医療機関、買物ができるところは多い
高齢者数	3,525 人	21.6 %	
65歳～74歳	1,463 人	9 %	
75歳以上	2,062 人	12.6 %	

地域で発生している問題

【福間南全体】

・原町公民館で月に2回開催されていたあんずの里市（移動販売）は、利用者減によりR8年6月に中止となった。

暮らしへの影響

・原町は坂道が多く、歩行状態が悪い方等では買物に困る人が増える可能性がある。

問題が起きている要因

・原町公民館や買物に行ける人が減っている。
 ・坂道が多いため、歩行状態が悪い方は公民館まで行けない。
 ・原町では年間40～50人の高齢者が亡くなっており、あんずの里市を利用していた方も亡くなった。

考えられる解決策（取り組み）

・あっとレガネットやグリーンコープ等の移動販売を個人や福祉会に紹介する。
 ・生協やネットスーパーの情報を総合相談等で買い物の相談があった住民に紹介する。
 ・個人宅であっとレガネットを利用している方がいる場合は、近所の方も利用できないか交渉する。
 ・社協SCと情報を共有。

結果、成果

令和8年度福津市地域包括支援センター地域別取り組みシート

地域 上西郷

基本情報（令和8年3月31日時点）			地域特性
人口	2,692 人		・地区全体で交通の便が悪い ・R7年8月に水害による河川氾濫が起きた ・サロン等が少なく開催場所も少ない ・買い物ができるスーパーがなくて不便
高齢者数	1,019 人	37.9 %	
65歳～74歳	475 人	17.6 %	
75歳以上	544 人	20.2 %	

地域で発生している問題

【上西郷全体】

上西郷地区全体において交通の便が悪く、外出困難者が多い。

暮らしへの影響

- ・高齢者の外出機会が減り、閉じこもりや生活不活発に繋がるリスクがある。
- ・活動に参加したい高齢者がいても、交通の便が悪く紹介することが難しい。
- ・買い物や受診等に行く手段がなくなるため、自家用車の免許返納をためらうケースがある。

問題が起きている要因

- ・ミニバスはあるが本数が少なく、利便性が悪い。

考えられる解決策（取り組み）

- ・外出支援による移送サービスの提案。

結果、成果

令和8年度福津市地域包括支援センター地域別取り組みシート

地域 神興

基本情報（令和8年3月31日時点）			地域特性
人口	6,483 人		・高齢化率が高い（光陽台4、5、6区は60%近い） ・県営住宅、公社等の集合住宅がある ・山を造成開発した地区は坂が多い
高齢者数	2,722 人	42 %	
65歳～74歳	1,108 人	17.1 %	
75歳以上	1,614 人	24.9 %	

地域で発生している問題

【サロン】

- ・通いの場に行きたくてもいけないケースがある。
- ・身近に通える通いの場がない地区がある。

暮らしへの影響

- ・閉じこもり、他者交流の低下から起こるフレイル悪化、意欲低下。
- ・自宅からサロンが遠くて通えないため、介護保険サービスの利用を継続せざるを得ないケースがある。

問題が起きている要因

- ・徒歩圏内に通える通いの場がない。
- ・通いの場の情報を知らない住民がいる。
- ・体力低下がしてサロン等に通り続けることができなくなった。

考えられる解決策（取り組み）

- ・既存の通いの場の情報提供と新たな通いの場づくりの提案。
- ・フレイルにならないための、自宅でできる運動等の提案、「きんしゃいん☆倶楽部」等の運動サロンの情報提供。

結果、成果

令和8年度福津市地域包括支援センター地域別取り組みシート

地域 神興

基本情報（令和8年3月31日時点）			地域特性
人口	6,483 人		・高齢化率が高い（光陽台4、5、6区は60%近い） ・県営住宅、公社等の集合住宅がある ・山を造成開発した地区は坂が多い
高齢者数	2,722 人	42 %	
65歳～74歳	1,108 人	17.1 %	
75歳以上	1,614 人	24.9 %	

地域で発生している問題

【買い物】
・買い物をする店はあるが店まで行く交通手段が少ない。また、坂道が多い地域や店から遠い地域は容易に行けずに困っている方がいる。

暮らしへの影響

・徒歩やバスでの買い物が困難であるため、自家用車の免許返納をしたくてもためらうケースがある。
・高齢者が買い物に行けないためその家族が買い物支援をしており、家族の負担が増えている。

問題が起きている要因

・坂道の上に住宅が多くあり、坂道を下ったところになに買い物のできる場所がない。
・近くに買い物できる所が少ない。
・加齢による下肢筋力低下にて、長距離を歩くことや荷物を持って坂を上ることが困難。

考えられる解決策（取り組み）

・移動スーパーや買い物支援、ネットスーパー等の情報提供をする。
・フレイル予防として、自宅でできる運動等の提案、「きんしゃいん☆倶楽部」等の運動サロンの情報提供。

結果、成果

令和8年度福津市地域包括支援センター地域別取り組みシート

地域 神興東

基本情報（令和8年3月31日時点）			地域特性
人口	7,500 人		・サロンが活発な地区とそうではない地区が混在 ・戸建てが多い ・ミニバスが地区内を網羅している ・医療機関は2カ所 ・買い物ができるところが少ない
高齢者数	2,401 人	32 %	
65歳～74歳	767 人	10.2 %	
75歳以上	1,634 人	21.8 %	

地域で発生している問題

【神興東全体】

- ・かいがら公民館での移動販売はあるが、公民館まで行けない人がいる。

暮らしへの影響

- ・近くに買い物ができる店が少なく、また、移動販売がある場所まで行けずに困っている。
- ・家族が遠方であったり、忙しい場合には家族の介護負担が大きくなる。

問題が起きている要因

- ・体力低下やフレイル悪化等の理由で移動販売の場所に行けない。

考えられる解決策（取り組み）

- ・サロンや既存の移動販売の参加者に対して、個人宅に訪問する移動販売の情報提供を行い、所定の場所に行くことが出来ない人への対応の周知を依頼する。
- ・自宅でできる運動や散歩の推奨を行い、公民館まで通える体力づくりを提案。

結果、成果

令和8年度福津市地域包括支援センター地域別取り組みシート

地域 津屋崎

基本情報（令和8年3月31日時点）			地域特性
人口	8,690 人		・冠水しやすい ・現役世代の増加 ・交通網はバスのみで不便な地区が多数 ・サロン多数 ・地域毎の繋がり強さに差がある ・医療機関は3箇所 ・大型スーパーは1箇所
高齢者数	2,342 人	27 %	
65歳～74歳	1,019 人	11.7 %	
75歳以上	1,323 人	15.2 %	

地域で発生している問題

【津屋崎全体】
 ・高齢化率の高い地区（梅津区、大石区、在自区、生家区、堅川区、新町区等）からの相談が少ない。

暮らしへの影響

・早めの相談がないため、包括センターが介入した時に本人が重篤な状態になっていることが多い。

問題が起きている要因

・困りごとを家族内で解決しようとする傾向が見られるため、近隣住民や民生委員が問題に気づくことが遅れる。
 ・地域の集まりがないため、包括センターの周知を行う機会がない。

考えられる解決策（取り組み）

・民生委員会等に参加して顔の見える関係性を構築し、包括センターの周知に向けた協力を依頼する。

結果、成果

令和8年度福津市地域包括支援センター地域別取り組みシート

地域 宮司

基本情報（令和8年3月31日時点）			地域特性
人口	8,619 人		・戸建て多い、マンション少ない ・大通りは西鉄バスあり、入り込んだところはバス停少ない ・主要道路に水害リスクあり ・サロンが多数ある ・地域の繋がりが強い ・診療所が多い ・大きめのスーパーがない
高齢者数	2,198 人	25.5 %	
65歳～74歳	892 人	10.3 %	
75歳以上	1,306 人	15.2 %	

地域で発生している問題

【宮司全体】

- ・星ヶ丘区は高齢者世帯が多く、相談時には深刻化していることが多い。（高齢化率：44.8% ※令和7年度）

暮らしへの影響

- ・高齢者の心身の健康が損なわれ、働く家族や遠方の家族に負担（生活・医療・介護）をもたらしている。

問題が起きている要因

- ・認知症がある本人自身から困っている訴えがないため、相談に繋がるのが遅れてしまう。包括センターが介入した時点で、中～重度の認知症となっており在宅での生活が困難になっている。その際、介護度が重く出てしまう。
- ・家族が遠方に勤めており、高齢者が取り残されている。

考えられる解決策（取り組み）

- ・星ヶ丘区で行われているサロン活動などに参加し、地域住民に困りごとがないか、困っている住民がいらないかの話を伺う。
- ・民生委員との連携を図り、困っている住民がいらないかの話を伺う。

結果、成果

令和8年度福津市地域包括支援センター地域別取り組みシート

地域 勝浦

基本情報（令和8年3月31日時点）			地域特性
人口	1,013 人		・高齢者多数 ・戸建て多数 ・交通の便が悪い ・災害リスクは低め ・医療機関や買い物ができる場所が1箇所のみ ・サロンは1つのみ
高齢者数	448 人	44.2 %	
65歳～74歳	195 人	19.2 %	
75歳以上	253 人	25 %	

地域で発生している問題

【勝浦全体】

- ・相談される頃には本人の状態が重篤になっているケースが多い。

暮らしへの影響

- ・早めに相談することで、困りごとの状況が改善して在宅生活が続けられる可能性が高くなる。反対に、相談が遅くなることで本人の状態や状況が悪化し、家族の介護負担が大きくなることで、本人が自宅での生活を続けられない。

問題が起きている要因

- ・高齢者が相談先（包括センター、民生委員）を知らない。

考えられる解決策（取り組み）

- ・各地区の民生委員との連携が取りやすくなるよう、民生委員会等に参加して顔の見える関係性を構築する。

結果、成果